

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○災害発生時の廃棄物処理等に係る協力・支援体制の構築
主な取組	災害廃棄物処理計画フォローアップ事業		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・本県に漂流・漂着し県民生活や水産業、観光業等に影響を及ぼしている軽石など、災害発生時の対応や処理・活用等を迅速かつ適切に実施するため、各市町村及び民間企業・団体との協力・支援体制の構築を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
災害時に廃棄物処理を迅速・円滑に遂行できるよう市町村の災害廃棄物処理計画策定を支援するための研修会及び災害対応向上のための図上演習を行う。	県	市町村災害廃棄物処理計画策定支援のための研修(図上演習含む)の実施			
		沖縄県災害廃棄物処理研修会(図上演習含む)の実施回数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(2回)	
担当部課【連絡先】	環境部環境整備課		【 098-866-2231 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	災害廃棄物処理計画フォローアップ事業			予算事業名	災害廃棄物処理計画フォローアップ事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	1,925	1,980	県単等	委託	1,854
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
<p>研修会では、講演（被災自治体職員の災害廃棄物処理対応、市町村災害廃棄物処理計画の策定）、図上演習（仮置場レイアウト作成等）を実施した。</p>				<p>市町村災害廃棄物処理計画策定を支援するため、研修会を実施する。また、市町村職員の災害廃棄物処理の能力向上を図るため、図上演習も実施する。</p>		

活動指標名	沖縄県災害廃棄物処理研修会 (図上演習含む)の実施回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回(2回)	100.0%	順調	令和7年2月に、沖縄県災害廃棄物処理研修会を開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>活動指標である研修会について計画値1回に対し、実績値が1回であったため順調と判定した。また、市町村向けの計画策定研修を実施することにより、市町村の策定数は、20市町村（令和5年度末）から24市町村（令和6年度末）に増加した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>○九州地方環境事務所と連携し、未策定市町村の計画策定を支援する。 ○研修会の講演（被災市町村職員による災害廃棄物処理対応）及び演習を通して、市町村職員に計画の意義・必要性について理解を促し、未策定の市町村の計画の早期策定を促す。</p>	<p>○九州地方環境省事務所と連携し、未策定市町村の計画作成を支援した。 ○研修会の演習を災害廃棄物の処理に携わる関係団体も含めて行ったことで、処理計画の意義・必要性の理解を深め、未策定の市町村の計画の早期策定を促すことができた。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	市町村の担当職員は、複数の業務を担当しており、計画策定に時間を割けないこと、また、人員を確保できない市町村もあることから、県全体として計画の策定が進んでいない。	② 連携の強化・改善	県事業と九州地方環境事務所の支援の両方により、未策定市町村の計画策定を支援する。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	国全体の目標（令和7年度までの市町村策定率60%）は、令和2年度に達成されたが、県内の市町村策定率は58.5%（令和6年度末時点）と全国的に低い。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	未策定市町村の計画策定の目途や策定に係る課題をとりまとめ、計画の早期策定となるよう支援を行う。